

# 北陸道



Hokuriku Dou-Raku

Vol. 45

2026 春

Spring

Hokuriku Driving Guide

シリーズ特集

「みち」が生む  
にぎわいを  
訪ねる旅 ③

Discover the Charm of  
the Historic Kaido Roads

## うららかな春の旅路へ、 美しき北国街道を行く

福井・石川・富山の観光・グルメ情報

北陸道SA・PA INFORMATION

Access イラストマップ

表紙 / にゅうせんフラワーロード (富山県入善町)

# 「みち」が生む にぎわいを 訪ねる旅 3

Discover the Charm of  
the Historic Kaido Roads

# うららかな 春の旅路へ、 美しき 北国街道を行く

A Balmy Spring Journey  
Along the Beautiful Hokkoku Kaido

富山県 | 東岩瀬 — 泊 (朝日)  
Toyama | Higashi Iwase | Tomari (Asahi)

江戸時代、参勤交代のルートとして宿場町が築かれ、多くの人々が行き交った北国街道。その道中には、自然が生み出す大パノラマや、北陸の風土の中で育まれた情緒ある町並みなど、思わず息をのむ見どころが点在しています。

そこで、今回は富山藩の城下町として栄えた富山市を起点に北国街道を東へ。春うらら、はなやかに色づく富山県の絶景を訪ねます。北国街道を歩いた旅人に思いを寄せ、みちを通して築かれた“いま”のにぎわいを探しに出かけてみましょう。

During the Edo period, post-station towns were established along the Hokkoku Kaido as part of the Sankin Kotai (alternate attendance) system, and countless travelers journeyed down this historic road. Breathtaking highlights unfold along the way—from sweeping natural panoramas to evocative townscapes shaped by Hokuriku's distinctive climate. Our journey begins in Toyama City, which prospered as the castle town of the Toyama Domain, and continues eastward along the Hokkoku Kaido. In the gentle glow of spring, we set out to discover Toyama Prefecture's stunning seasonal vistas, alive with fresh color. Reflecting on the travelers who once walked this historic road, let us explore the vibrant present-day scenes that have grown from the rich history along this route.



富山を代表する絶景として大勢の人々にぎわうのが、「春の四重奏」(朝日町)。残雪が残る朝日岳を背景に、桜並木、菜の花、チューリップが作り出す鮮やかな四重奏が見る人にかかるやかな春の息吹を伝えます。撮影:イナガキヤスト

## 絶景を切り取るフォトグラファーに聞く、富山の魅力

立山連峰から富山湾、  
高低差4,000mの  
富山は絶景の宝庫です

イナガキヤストさん

1981年生まれ。富山県射水市出身・在住の写真家。『富山の本気』と題した風景写真や自身の家族の写真SNSで発表し話題に。NHK富山「イナガキヤストの本気旅」、KNB北日本放送「眺めのいい時間」などメディアへの出演も多数。2022年12月、写真集『ぼくたちの大切な時間』を出版。2023年春にはジャポニカ学習帳の表紙に写真が採用される。

Instagram: inagakiyasuto



富山には海もあり、山もあります。3,000m級の立山連峰から水深1,000mの富山湾まで、高低差4,000mのダイナミックな地形が絶景をつくり出し、“海のあるスイス”ともたとえられています。富山に生まれ育ち、県内のいたるところに足を運んだ今でも、晴れわたったときのふるさとの美しさには、胸がドキドキしてしまいます。さらに言えば、絶景を求めるならば、春は一番のおすすめシーズンです。生活圏の雪は解け、色とりどりの花が咲き、立山連峰に残る雪とのコントラストは何度見ても飽きることがありません。春の北国街道で絶景めぐりをぜひ楽しんでください。

# 「みち」が生むにぎわいを訪ねる旅 3

Discover the Charm of the Historic Kaido Roads

うらかな春の旅へ、美しき北国街道を行く



岩瀬カナル会館から立山を望む

絶景 ZEKKEI

### イナガキヤストの絶景ガイド

岩瀬カナル会館から立山を望むと、富岩水上ラインの観光船が行き来し、路面電車もあります。船と路面電車と立山が重なる光景に、きっと旅情をかき立てられるはずですよ。



### 北前船でにぎわった明治期の町並みが残る

春の絶景を求めて、最初に向かったのは富山ICから北へ車で約35分、加賀藩主往還道(参勤交代ルート)の宿場町として栄えた岩瀬エリア(富山市)です。ここでまず立ち寄ってほしいのが岩瀬カナル会館。エリアの観光情報の発信拠点からは、岩瀬運河の向こうに雄大な立山連峰を望みます。



北前船の栄華にふれる

江戸後期から明治にかけて北前船で繁栄した岩瀬地区。明治期の家屋様式が保存されており、写真の馬場家は「岩瀬五大家」の筆頭に挙げられ、北陸の「五大北前船主」にも数えられました。岩瀬地域でも最大規模の住宅で、長さ30mのトオリニワ(屋内通路)、33畳ものオイ(広間)などが見どころです。国登録有形文化財。

馬場家(旧馬場家住宅) / 富山市東岩瀬町107-2  
TEL 076-456-7815 / Pあり

絶景を心に刻んだ後は、旧北国街道の大町・新川通りに向かいます。岩瀬エリアは、北前船の寄港地として物流の中核を担った歴史があり、通りには船主の屋敷をはじめ明治期の家屋が現在も維持・保全されています。往時の息遣いを今に伝える通りには、ギャラリーやセレクトショップ、日本酒バー、ミシュランに輝くレストランなどが軒を連ねており、美食と芸術のまちとして人気が高まっています。お気に入りのお店に出会えると話題のエリアで、ぶらり散策していると、ついつい時間を忘れてしまいます。



伝統的なチェコスタイルのクラフトビールを味わう

レトロな雰囲気のある岩瀬エリアは多彩なショップがそろう、散策に最適。

馬場家の米蔵を改装した「KOBOW Brew Pub」は、店舗に醸造所を併設。チェコ出身の職人が伝統的なチェコスタイルで醸造したクラフトビールをそろえています。中には、フルーツや酒粕を使い、ここでしか味わえない1杯もあります。素敵な空間で、ビールに合うフードとともに、ゆったりと味わってください。

KOBOW Brew Pub  
富山市東岩瀬町107-2  
TEL 080-3047-9916 / Pあり



注目度高まるレトロな港町



富山湾の旬をいただく

「水橋食堂 漁夫」は水橋漁港にあり、地元漁師が営む食堂です。立地と手がける人たちの顔ぶれを考えれば、鮮度と素材の良さは間違いありません。旬をいただく海鮮丼、富山湾の宝石と言われる白エビのかき揚げなど、富山のおいしさを存分に堪能できます。  
水橋食堂 漁夫 / 富山市水橋辻ヶ堂40-22  
TEL 076-460-3758 / Pあり

### 海風届く浜街道を抜けて水橋漁港、滑川へ

岩瀬から次の目的地には、県道1号を使って滑川方面へ。富山湾に面し、浜街道といわれたこの街道には、約4kmごとに築かれた一里塚など、往還道だったことを示す証がいくつも残っています。「浜黒崎の松並木」もその一つ。この地には、街路の美観などを理由に加賀藩主・前田利長が命じ、慶長年間(1596~1615年)に整備が始まったとされる松並木が約8kmにわたって続いており、かつては「古志の松原」とも呼ばれていたのだとか。数は減ったものの、今でも道沿いをドライブす

絶景 ZEKKEI

### 潮風が心地いい水橋地区で海と山の絶景を望む

れば、堂々とした松が車窓越しにいくつも流れ過ぎていきます。そして、日本屈指の急流河川、常願寺川を越えると見えてくるのが水橋漁港です。水橋は古くから良港として知られ、江戸時代には加賀藩の藩倉があり、米の積出港として栄えました。潮の香りに包まれた漁師町は、富山湾を背にして立つと、立山連峰が近くに見え、海と山に挟まれた富山の魅力を感じられるスポットです。さらに県道1号を東へと進んでいくと、春の訪れを告げるホルライカのまち滑川市に入ります。



街道の歴史伝える大松

「浜黒崎の松並木」は富山県指定天然記念物。かつては、富山市東岩瀬~浜黒崎の街道沿いの両脇に立ち並んでいました。

### イナガキヤストの絶景ガイド

水橋漁港の近くには、プレジャーボートの係留場所で、釣りも楽しめる水橋フィッシュリーナがあります。周辺は港町の風情が漂い、立山連峰も近くに見ることがおすすめのスポットです。



### 街道沿いの「絶景」をさらに深掘り\_01

### 謎に包まれたホルライカの幻想的な光をその目で見てみよう

3~5月の富山湾には、ホルライカが産卵のために押し寄せ、急激に水深1,000mにまで落ち込む地形などが生息に適しているとされ、滑川市の海面は国の特別天然記念物に指定されています。ホルライカは青白く幻想的に光るのが大きな特徴。ほたるいかミュージアムでは、地元漁師の皆さんにご協力いただき、3月20日~5月下旬、ホルライカが実際に発光するライブショーを実施し、手で触れることもできます。滑川市では、ホルライカ漁を

見学できる海上観光(4月~GWごろ)も受け付けています。大量のホルライカが海岸に打ち上げられる現象「ホルライカの身投げ」が起きることも。もちろん、漁に出られるかどうかはその日の天候によりますし、身投げも様々な条件がそろわなければなりません。ただ、見られればきっと、忘れられない思い出になるはず。ふしぎな光に誘われ、滑川にお越しください。

ほたるいかミュージアム  
滑川市中川原410  
TEL 076-476-9300 / Pあり



幻想的なホルライカの身投げ。新月前後の真っ暗な夜に発生しやすと言われています。

ほたるいかミュージアム  
スタッフ 高野 江利子さん

絶景 ZEKKEI



東岩瀬 滑川

シリーズ特集  
「みち」が生む  
にぎわいを  
訪ねる旅 ③

Discover the Charm of  
the Historic Kaido Roads

うらかな  
春の旅路へ、  
美しき  
北国街道を行く

いまが蜃気楼のベストシーズン  
光と風が織りなす自然の芸術

滑川 → 魚津 → 三日市(黒部)

絶景  
ZEKKEI



撮影:イナガキヤスト

イナガキヤストの絶景ガイド

富山湾を背景にたつ観覧車は  
とても絵になります。山側を通る  
県道135号沿いからは、富山地方  
鉄道やあいの風とやま鉄道を  
走る電車も見ることができます。



瀬羽町エリアの旧宮崎酒造は、  
地域の歴史を伝える建物です。  
北国街道に面してたち、酒造業と  
売薬を営み、弘化(1845~1848  
年)以降は、本陣も務めていま  
した。1866(慶応2)年の大火直後  
に再建された建物を見学でき、ト  
オリニワに沿って部屋を2列に配  
した町屋の形式を色濃く残して  
います。  
旧宮崎酒造  
滑川市瀬羽町1860  
TEL 076-476-9200  
(滑川市観光協会) / Pあり



趣ある酒蔵をゆったり観賞

昭和ノスタルジーを感じる  
旧滑川宿でまちめぐりを

滑川市で向かったのは、北国街道沿いの宿  
場町、旧滑川宿の一角にあたる瀬羽町エリ  
アです。瀬羽町の町並みはもともと海沿い  
にありましたが、波浪害を受けて1629(寛永  
6)年に山側に移転しました。その名残として

橋場から道が<sup>かぎがた</sup>曲がっており、現在も  
本陣を務めた旧宮崎酒造(国登録有形文化  
財)などの商家が残っています。  
かつて瀬羽町銀座通りと呼ばれ、人通りで  
あふれたこのエリアは近年、昭和期のノス  
タルジーを感じられるスポットとして注目  
度が上昇中。酒蔵や旧店舗を活用したカ  
フェ、雑貨店などが軒を連ね、週末を中心  
にまちめぐりを楽しむ人が増えています。



懐かしさを感じる通りで  
ぶらぶら、ショッピングめぐり

旧宮崎酒造の奥に進むと、アジアンカフェ「nanahime」に  
つながる階段があります。酒蔵の立派な梁や柱が落ち着  
いた空間を演出するカフェは、グリーンカレーやポーク定  
食、スイーツなど幅広いラインアップ。海を眺める隠れ家カ  
フェで、ゆったりとくつろぎの時間をお過ごしください。

nanahime  
滑川市瀬羽町1860 旧宮崎酒造2階  
問い合わせは (Instagram:nanahime30) / Pあり



隠れ家カフェを発見



絶景  
ZEKKEI

ランタンがつくる幻想夜



絶景  
ZEKKEI

大観覧車から広がる大パノラマ



魚津のランドマークとなっている大観覧車  
をはじめ、メリーゴーランドや巨大立体迷  
路など、小さなお子さんから楽しめるアトラ  
クションがそろっています。乗馬体験ができ  
る牧場やバーベキュー広場もあり、市民の  
憩いの場となっています。  
ミラージュランド/魚津市三ヶ1181番地1  
TEL 0765-24-6999/Pあり/水曜定休

ドライブコースに最適  
海沿い走るしんきろうロード

滑川を後にし、県道1号を東へ。早月川を渡  
ると、車は魚津市に入ります。まず目に飛  
び込んでくるのは、日本一海に近いテーマ  
パーク「ミラージュランド」のシンボル・大  
観覧車です。日本海側最大級、高さ66mの  
大観覧車からの眺めは格別で、目の前に富  
山湾と北アルプスの山々が広がります。  
ミラージュランドを通過したら、より海沿い  
の「しんきろうロード」を走行します。富山  
湾の向こうに能登半島が見えるみちは、ま  
さに絶好のドライブコースです。とはいえ、

通り過ぎるだけでは、奇跡  
の絶景を見逃してしまうか  
も。しんきろうロードでは一度車を止め、対  
岸に目を凝らすのを忘れてはいけません。

このみちはその名の通り、大気中の温度差  
で光が屈折して起こる蜃気楼の名所です。  
特に、春は風景が上側に伸びたり、反転し  
たりした虚像が映る上位蜃気楼が発生し  
やすい季節となっています。ただ、蜃気楼が  
見えるかどうかは運次第。気まぐれな自然  
の芸術を探してみましよう。  
また、山側にもぜひ目を向けてみてくだ  
さい。正面に大きく見えるのは立山連峰の北  
端に位置する僧ヶ岳(標高1,855m)。残雪  
やそこからのぞく山肌が、春の風物詩「雪

大観覧車は、富山湾と  
北アルプス立山連峰が  
一望できる絶景スポッ  
トです。

ミラージュランドと経田漁港間をつなぐ約8kmの湾岸道路のしんきろうロード。道沿  
いには、江戸時代末期に完成した万灯台、米騒動発祥の地や国の登録記念物「魚  
津浦の蜃気楼(御旅屋跡)」、海の駅蜃気楼など、見どころがたくさんあります。

しんきろうロード

魚津が誇る絶景を望むみちには  
歴史を語るスポットもいろいろ



絵」を描いています。山の名前の由来と  
なった僧が現れ、時期によってはウサギや  
ニワトリなども登場します。雪絵は日に日  
に形が変化する  
ため、住民にとっ  
ては農作業の目  
安を知らせるも  
のでもあったと  
言います。



初雪で冬を知り、その雪解けて春を知る  
と言われるほど、僧ヶ岳は魚津市民にとっ  
て身近な山として親しまれてきました。中  
腹のくぼ地に広がる湿地は県の自然環  
境保全地域に指定されており、貴重な生  
物の繁殖地にもなっています。

街道沿いの「絶景」をさらに深掘り\_02

加賀藩主も観賞し、絵に残した蜃気楼  
富山湾の奇跡をぜひ見てほしい

北国街道で人々が行き来して  
いた時代から、魚津は蜃気楼  
のまちとして知られていま  
した。蜃気楼は、上杉謙信が見  
たという記述があり、1669(寛  
文9)年には加賀藩に仕えた儒  
学者が記録を残しています。参  
勤交代で、この地を通った歴代  
の加賀藩主も自然がつくる芸  
術に目を奪われていたよう  
です。加賀前田家11代・治脩は江  
戸から金沢に戻る際に魚津の  
御旅屋で蜃気楼を目にし、絵  
師に6枚の絵図『喜見城之図』

を描かせ、時間とともに移り変  
わる様子を残しています。  
このように時代を超えて、蜃気  
楼は多くの人を引き付けてき  
ました。ただ、晴れたからとい  
って必ず見られるわけではない  
点も、蜃気楼の面白いところ。  
魚津埋没林博物館では過去の  
出現記録を公開し、予測情報  
を発表しています(3月下旬か  
ら6月上旬)。見え方を5段階(A  
~E)で判定し、肉眼でもよく見  
えるB判定以上のときは花火  
を打ち上げています。当館の情



絶景  
ZEKKEI

春に見られる上位蜃気楼は、晴れて気温が上がり  
風の穏やかな日がねらい目です。

報も参考に、富山湾ならではの  
絶景を楽しんでいただければ  
うれしいですね。

魚津埋没林博物館  
魚津市釈迦堂814  
TEL 0765-22-1049/Pあり

魚津埋没林博物館  
館長 石須 秀知さん



シリーズ特集  
「みち」が生む  
にぎわいを  
訪ねる旅 3  
Discover the Charm of  
the Historic Kaido Roads

うらかな  
春の旅路へ、  
美しさ  
北国街道を行く



絶景  
ZEKKEI

ヒスイ色の海岸が続く  
越中・越後の国境、泊宿

二手に分かれた夏街道と冬街道が再びつながるのは、越中・越後の国境に位置する泊宿(朝日町)。合流点は現在、5つの道が交差する五叉路となっています。断崖絶壁と荒波が旅人を阻む北国街道随一の難所・親不知(新潟県糸魚川市)を控えるこの地には、加賀藩最大の境関所が築られました。南北朝時代や戦国時代には国境の攻防で合戦が繰り広げられた地でもあり、境関跡の石碑が古くから交通の要衝だったまちの歴史を物語っています。そして、富山の東端、朝日町を象徴する景観が、ヒスイ海岸です。東西に約4km続く砂利浜の海岸は、「日本の渚百選」「快水浴場百選」に選ばれています。絶景とともに、

楽しんでほしいのがヒスイ探し。海から打ち上がる石の中にヒスイが含まれており、観光交流拠点施設「ヒスイテラス」では、ヒスイ探しのアドバイスや拾った石の鑑別もしてくれます。ここで紹介するだけでも、富山県東部を巡る春の絶景はめじろ押し。もちろん、このほかにも北陸には、今の季節だけの美景がいくつもあります。北陸自動車道を上手に活用しながら、北国街道の絶景を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。



創業400年。県内最古の酒蔵

朝日町にある林酒造場は、1626(寛永3)年創業の富山県で最も古い酒蔵です。北国街道とのつながりも深く、創業者は加賀藩の武士で境関所に勤め、参勤交代時に酒、味噌、醤油などを供給していたことが酒造りの起源になったのだとか。綿々と受け継いできた伝統技法に、新しい技を付加した地酒は、国内外で高い評価を受けています。

林酒造場/下新川郡朝日町境1608/TEL 0765-82-0384/Pあり



富山の東端、ヒスイ海岸で  
絶景とヒスイ探しに夢中

ヒスイ海岸はサンセットビーチとしても知られ、夕暮れ時の美しさは思わず息をのむほど。

200万本が咲き誇る花じゅうたん  
北アルプスと織りなす美の競演



見ごろは4月下旬まで  
国内最大級のチューリップ畑

魚津を越え、三日市宿(黒部市)で北国街道は二手に分かれます。一つは海沿いの入善町を抜ける冬街道(下街道)、もう一つは山手に進み、黒部市宇奈月町の愛本橋を通る夏街道(上街道)です。冬街道沿いには、この季節だけの絶景を楽しめるイベントがあります。それが『にゅうぜんフラワーロード』です。約4haに、200万



黒部の魅力ぎっしりの道の駅

黒部市のにぎわいスポットの一つが、道の駅「KOKOくろべ」です。黒部の恵みを集めたコミュニケーションプレイスには、地元海産物や黒部名水ポークといった地元グルメが盛りだくさんで、観光・文化・イベントの発信拠点の役割も担っています。  
道の駅KOKOくろべ  
黒部市堀切2番地1/TEL 0765-54-3266/Pあり



イナガキヤストの絶景ガイド

チューリップ畑の奥に連なる北アルプス。この光景はぜひ目に焼き付けていただきたいです。この雄大な山々を写真に残すには広角ではなく、望遠レンズを使うのがおすすめです。スマホならば×2以上に設定し、チューリップがほどよく写る距離をとって撮影しましょう。



本のチューリップが咲き誇ります。チューリップは富山県の県花で、球根出荷量は日本一。富山ならではの見渡す限りのチューリップ畑は国内最大級で、北アルプスとのコントラストは圧巻の美しさです。30回目を迎える今年の『にゅうぜんフラワーロード』は、4月8日~4月下旬に開かれます。会場内では球根の鉢植えや花苗などを販売しており、中には入善町で生まれた品種も。色とりどりのチューリップは、富山のおみやげにもぴったりです。



県花がつくる春の絶景

国内最大級のチューリップ畑が広がる『にゅうぜんフラワーロード』。開花から摘花まで、変化していく姿を楽しむことができます。公式ホームページでは、毎日の開花状況を確認できます。

にゅうぜんフラワーロード2026  
下新川郡入善町入膳138(JAみな種中央農業倉庫)  
※開催場所は毎年異なります。  
TEL 0765-72-3802(入善町フラワーロード実行委員会)  
Pあり

黒部川の激流で街道は  
“夏”と“冬”に分岐

北国街道が三日市宿で二手に分かれた理由には、北アルプスの鷲羽岳を源流とした黒部川が存在があります。黒部川は水量が豊富で、江戸時代、ひとたび大水となれば下流域では何日も足止めされることが珍しくありませんでした。そこで、1662(寛文2)年に川幅が狭くなった黒部川中流に全長63mの愛本橋を架設。雨の多い夏場は山側の夏街道、雪深い冬は海側の冬街道といったように、季節や天候で使い分けていました。

街道沿いの“絶景”をさらに深掘り\_03

百万石の技と権威が光る  
日本三奇橋の刎橋を復元

黒部川中流域に架かる現在の愛本橋は、赤い色が印象的な美しいアーチ橋ですが、江戸時代は木造の刎橋でした。刎橋は兩岸から大木を迫り出し、中央部分で橋桁を載せて完成させます。橋脚を1本も建てる必要がなく、黒部川の激流に対応した構造になっています。最初に造られたのは1662(寛文2)年。加賀前田家第5代の綱紀が命じて架設したもので、加賀百万石の権威を示す巨大な建造物でした。山口県岩国

市の錦帯橋、山梨県大月市の猿橋とともに「日本三奇橋」の一つに数えられ、当時は北国街道を代表する絶景だったのは間違いありません。黒部市歴史民俗資料館では、そんな歴史に触れてもらおうと、2分の1スケールで刎橋を復元し、数々の歴史的資料も公開しています。VR(仮想現実)で愛本刎橋を解説するバーチャルツアーも体験できます\*。北国街道が誇る名建築に思いをはせていただければと思います。



愛本刎橋は8回架け替えられ、1890(明治23)年まで現存。黒部市歴史民俗資料館では、VRで再現した当時の景観を楽しむことができます。



愛本刎橋の復元展示が見られます。

黒部市歴史民俗資料館  
黒部市宇奈月町下立682番地/TEL 0765-65-1010/Pあり

\*バーチャルツアー体験は身体への影響を考慮し、13歳以上(保護者の同意がある場合は7歳以上)から。

黒部市歴史民俗資料館  
スタッフ 能登 有紀さん





01

山頂公園のテラスから見る大絶景パノラマ

「三方五湖レインボーライン」は美浜町と若狭町にまたがる5つの湖(三方五湖)と若狭湾の絶景を望む全長約11kmのドライブコースです。2022年からは全線無料化されました。山頂公園内の6つのテラスからは360度パノラマの大絶景が楽しめます。カフェやお土産店、飲食店もあります。

三方五湖レインボーライン 山頂公園

○福井県三方郡美浜町日向75-2-6 [舞鶴若狭自動車道 若狭三方ICより車で約20分]  
 ☎0770-47-1170 夏9:00~17:00、冬9:00~16:30  
 大人(中学生以上)1,000円、小人(小学生)500円

名水百選にも選ばれている若狭の名水

「瓜割の滝」は天徳寺の奥に広がる若狭瓜割名水公園内に位置する小さな滝です。あまりの水の冷たさに冷やしていた瓜が割れてしまったという逸話からその名がつけられたそうです。1年を通して水が冷たく、清らかな水の流れと木々の緑に癒されます。公園内には1万株のアジサイが植えられており、四季折々の景色も楽しめます。

瓜割の滝

○福井県三方上中郡若狭町天徳寺 [舞鶴若狭自動車道 若狭上中ICより車で約15分]  
 ☎0770-62-0186 (若狭瓜割名水公園管理組合 名水の里)



02



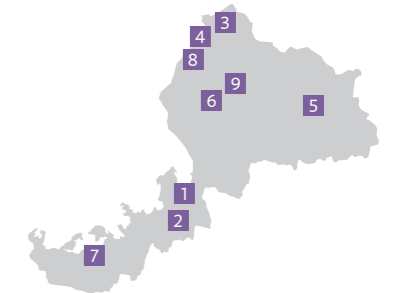
03

神の島・雄島の変化する風景が楽しめるミュージアム

古くから神の島と呼ばれ、国の名勝・天然記念物でもある「雄島」。「Brilliant Heart Museum」は地元三国町出身のアーティスト戸田正寿氏が企画・設計を手掛けた私設美術館です。写真のように雄大な雄島の刻一刻と変化する風景をアートとして楽しむことができます。入館料にはお抹茶・一口サイズのお菓子がセットになっているので、ゆっくりアートを楽しむことができます。

雄島 Brilliant Heart Museum

○福井県坂井市三国町安島字26-21 [北陸自動車道 金津ICより車で約20分]  
 ☎090-6819-9956 (寺原)  
 4月1日~11月30日 金曜・土曜・日曜・祝日11:00~17:00 (最終入館 16:00) ※要予約  
 一人様3,000円 (抹茶と一口サイズのお菓子付き)



力強い風景が楽しめる世界三大絶勝

実際に訪れた方からもおすすめしたい人気の福井を代表する観光スポット「東尋坊」。日本海の波によって削られた険しい断崖絶壁が約1kmも続く迫力ある景色は、「世界三大絶勝」のひとつにも選ばれています。遊歩道があるので東尋坊周辺を散策したり、遊覧船で東尋坊や近くにある雄島を約30分間にわたって巡ることも可能。周辺にはカフェやお土産店、飲食店もあります。

東尋坊

○福井県坂井市三国町安島64-1 [北陸自動車道 金津ICより車で約30分]  
 ☎0776-82-0181 (東尋坊まちづくり株式会社)



04

きて!みて!よかった!!  
 大本山 永平寺 御用達

**羽二重餅の故里**

〒910-1121 福井県吉田郡永平寺町松岡吉野35-21-1  
 予約 TEL **0776-61-2100**

HP <http://www.maedaseika.co.jp> AM8:00~PM5:00 年中無休 福井北I.Cより2分、JR福井駅より20分

高速道路周遊パスで **お得** にドライブ

平日も使える **お得** な 高速道路周遊パス

福井県内の 駅レンタカー 営業所

新幹線をご利用の方は 駅レンタカー

JRグループのレンタカーだから 駅チカ営業所でスグに乗れる!!  
 ぜひ駅レンタカーをご利用下さい。

○駅レンタカー 芦原温泉営業所 (オリックスレンタカー内)  
 ○駅レンタカー 福井営業所  
 ○駅レンタカー 越前たけふ営業所 (ニッポンレンタカー内)  
 ○駅レンタカー 敦賀営業所 (オリックスレンタカー内)

福井県エリアのプランはこちら

05



美しい星空と広大な自然が満喫できるキャンプフィールド

2025年にオープンしたばかりのキャンプ場。星空保護区に認定された大野市六呂師高原で、自然の灯りや音などを心の豊かさに変えられる場所を目指しています。このキャンプ場のメインは星たちが主役になる夜。空気が澄んだ高原で見る星空は絶景です。火を囲みながら聴こえる自然音に耳を澄ませば、心がふわっと軽くなります。施設内にはサウナなども併設しており、非日常をゆったり味わう格別な体験ができます。

SORA to DAICHI

○福井県大野市南六呂師169字東上谷野47-1 [中部縦貫自動車道 大野ICより車で約20分]  
☎0779-69-2787 営業時間: 9:00~18:00 (管理棟) チェックイン: 13:00~18:00、チェックアウト: 7:00~11:00  
※無休 (天候等により休館の場合あり)

06 歴史ある自然公園で  
美しいツツジや動物たちと触れ合う

「日本の歴史公園100選」に認定され、地元の人にも人気の鯖江のシンボルの公園。春には約5万株のツツジが咲き乱れる日本海側随一のツツジの名所としても有名で、四季を通じ様々な風景を見ることができます。また、園内には無料の動物園もありレッサーパンダなど様々な動物が飼育されています。大人も子どもも楽しめる憩いの公園として親しまれています。

西山公園 西山動物園

○福井県鯖江市桜町3丁目7-20 [北陸自動車道 鯖江ICより車で約10分]  
☎0778-51-1001 (鯖江市公園管理事務所)  
動物園は9:00~16:30 公園は無休・動物園は月曜 (祝日の場合翌日)



FUKUI GOURMET

07



目の前に若狭湾が広がる  
地産地消のレストラン

四季を通じて豊かな海の幸が味わえる若狭湾。「濱の四季」は小浜の海の幸を中心とした料理が味わえます。看板メニューは若狭のイカ丼・濱盛り丼など桶に入った丼もので、その他刺身定食、期間限定メニューなど豊富なメニューが味わえます。店内は広々としており、畳席もあるのでファミリー利用にもおすすめ。窓の外に広がる若狭湾の景色を見ながら美味しい食事が楽しめます。

濱の四季

○福井県小浜市川崎3丁目5番  
【舞鶴若狭自動車道 小浜ICより車で約10分】  
☎0770-53-0141  
営業時間: 11:00~14:30 (14:00L.O.)  
※第3木曜日 (祝日の場合は営業)・年末年始 (不定休)

09

足羽山の自然の豊かさを五感で感じるカフェ

足羽山にあるレストラン&カフェ。春は桜、夏はアジサイと新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と季節ごとに変化する足羽山の美しい自然に囲まれながら贅沢なひと時が過ごせます。おすすめはベレット型石窯で焼き上げる本格的なナポリピッツァ。ドリンクやピザドッグはテイクアウトできるので、散歩のお供にもおすすめです。

足羽山テラス

○福井県福井市足羽上町111 [北陸自動車道 福井ICより車で約20分]  
☎0776-43-3730 営業時間: 10:00~17:00 ※第3水曜



東尋坊にある海を  
一望できる絶景カフェ

東尋坊の最先端にあるカフェ。店内のほとどの席からも日本海を眺めることができます。天気のいい季節はテラス席で潮風を感じながらの食事がおすすめ。名物の「超あらびき岩バーガー」はつなぎを使わない牛赤身肉100%のパテを、新鮮野菜と天然酵母仕込みのパンズでサンドした一品。スイーツやドリンクも豊富なため、ゆったりカフェタイムも楽しめます。

IWABA CAFE

○福井県坂井市三国町安島64-1-9  
【北陸自動車道 金津ICより車で約30分】  
☎0776-81-7080 営業時間: 10:00~18:00 (17:30L.O.)  
※不定休 (11~3月は水曜定休)

08



有料  
広告 募集中



北陸道楽に広告を載せてみませんか…!?

北陸道楽では、北陸地方の企業・地方公共団体のみなさまの広告を有料で掲載することができます。どなた様でもお気軽にお問い合わせください。

有料広告  
募集中

→ 詳細はこちら

